

「月刊積算資料」掲載の情報サービス料金における各種定義の変更について

「月刊積算資料」に掲載している情報サービス料金について、2024年9月号より各種定義の変更を行いましたのでご案内いたします。読者の皆様にはご不便をおかけいたしますが、ご理解のほどよろしくお願いたします。

ソフトウェア開発業務

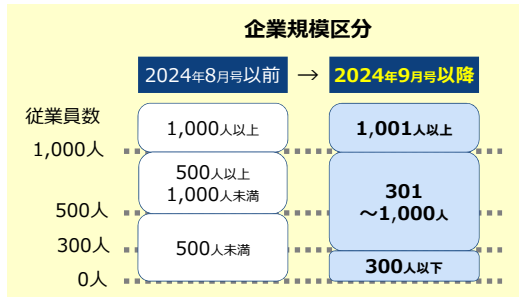
企業規模区分(従業員数)の変更

■変更内容

企業規模の定義について、従業員数による規模の区切りを右図のとおり変更しました。

■変更理由

調査結果の企業規模と技術者料金の水準の関係をもとに、より実態に近い技術者料金の掲載方法にするために実施いたしました。



技術者の役割区分の定義の変更

■変更内容

- ① 技術者に「**上級プロジェクトマネージャ**」を新設
- ② 技術者の**呼称**を変更
- ③ 役割の**定義**の変更
- ④ 技術者の定義に「**目安となるITSSレベル**」を追加

■変更理由

- ① プロジェクトの特性に応じて、プロジェクトマネージャに求められるスキルが異なることを鑑み、社会インフラシステム※や大規模(ピーク時要員数10人以上50人未満)のプロジェクトを担当するプロジェクトマネージャとして**上級プロジェクトマネージャ**を新設しました。
- ② 近年、小規模で短期間のプロジェクトが増えており、1人の技術者が複数の役割を担うケースが増加していることから、2020年4月号で**プロジェクトチーム**での**役割を示す呼称**に変更しましたが、以降の調査結果にもとづき、より実態に近い呼称に見直しました。
- ③ ①、②の見直しにあわせて、各技術者の**役割の定義**を見直しました。
- ④ 技術者の定義を明確にするため、各技術者の**目安となるITSSレベル**を示しました。

※社会インフラシステムとは、システム障害時の影響範囲が社会全体に及ぶような、政府・行政、公共交通、電気・ガス・水道・熱供給、金融、情報通信等の社会インフラ事業に関わる情報システムを指します。

2024年8月号以前	2024年9月号以降	ITSSレベル
技術者	技術者(定義)	
	上級プロジェクトマネージャ(上級PM)	レベル5程度
プロジェクトマネージャ	プロジェクトマネージャ(PM)	レベル4程度
	プロジェクトリーダー(PL)	レベル3程度
リーダー	プロジェクトメンバ1(MEM1)	レベル2~3程度
サブリーダー	プロジェクトメンバ2(MEM2)	レベル2程度
メンバ		

システム運用業務、システム管理業務

技術者の役割区分の定義の変更

■変更内容

技術者の定義として示していた「**目安となるITSSレベル**」のスキルレベルを右表のとおり変更しました。

■変更理由

技術者の定義を明確にするため、**各技術者の目安となるITSSレベル**を見直しました。

	2024年8月号以前	2024年9月号以降
システム運用技術者	レベル3・4 レベル2以下	レベル3~4程度 レベル2程度
システム管理技術者	レベル5以上 レベル3・4 レベル2以下	レベル5程度 レベル3~4程度 レベル2程度

お問い合わせ

一般財団法人 経済調査会 調査研究部 第二調査研究室

担当：大岩・真田 TEL：03-5777-8212 メール：software@zai-keicho.or.jp